

次号予告

特集 社会科学における計量・数理分析の潮流

選挙・世論の数量分析	田中 愛治 (青山学院大学)
社会秩序のシミュレーション分析	高木 英至 (埼玉大学)
「制度による均衡」と「均衡としての制度」	石田 淳 (東京都立大学)
国際政治の数量分析—戦争研究における例—	原田 至郎 (東京大学)
国際政治の数理分析	山本 吉宣 (東京大学)

編集後記

●この編集後記を書いている時は、大学では入学試験、卒業式といった学年末の行事が終了し、新学期に向けての準備の時期となります。この行事の中でも入学試験は「質」の面からも「量」の面からも適切な新入生を確保するという、教育上も経営上も非常に重要な仕事です。この入試作業の超難問のひとつに入学手続き率を見込んだ合格者数の決定があります。入学者が少ないと経営者が困り、多すぎると適切な教育環境となりません。

●ここ数年の間、18才人口の減少や景気の後退といった、大学の入学試験の置かれた環境に大きな変化が起きています。私の勤務する大学では、受験者数の大幅な減少、入試欠席率の低下、入学手続き率の増加が引

き続いて生じています。これは、掛け持ち受験が減ったことの現れでしょう。入学手続き率の予想は数年前までの数字をみながらエイヤッと決めるので、先のような変化が起こるとお手上げです。本年は、受験者数の減少傾向も止まり、欠席率も低かったため、昨年度と同様、合格者数を押さえるという堅い予測をして安心をしていたところ、驚くほど手続き率が低く、入学者が予定数を下回ってしまいました。

●ある種の変化が起こるであろうと予想できていれば、様々な手法を駆使してその変化の向きや大きさを推測することが可能です。しかし、どのような変化が起きるのかを予測するのは難問です。このような話をまとめるのは大変ですが、編集委員卒業までの1年間に形にしたいものだと思っています。(田口 東)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 大山達雄(政策研究大学院大学) 副委員長 田口 東(中央大学)

委員 上田徹(成蹊大学)、葛山康典(早稲田大学)、國澤直樹(東電ソフトウェア㈱)、栗田治(慶応義塾大学)、笹山晋一(東京ガス㈱)、猿渡康文(筑波大学)、椎名孝之(勸電力中央研究所)、繁野麻衣子(筑波大学)、清水康司(青山学院大学)、外嶋成留(住友金属工業㈱)、田中宏和(神奈川工科大学)、田村明久(電気通信大学)、原 裕淳(㈱東芝)、宮崎知明(富士通㈱)、矢島安敏(東京工業大学)、山下英明(東北大学)、吉野秀明(日本電信電話㈱)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成10年6月号 第43巻 第6号 通巻450号

代表者 刀根 薫

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

編集人 大山達雄

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)、日経弘報社(3563-2241)へ